

「面影」
おもかげ

おもかげ
—江戸へ誘う良薬—
メデイシン

端唄

本條秀太郎の会
H A U T A
Produced by Honjoh Hidetaro

一
夏
絵題字 三谷馬

唄・三味線

本條秀太郎

三味線

本條秀五郎
本條秀慈郎

※曲目は予期なく変更される場合があります。

曲目(予定)

梅にも春
初出見よとて
奥山の

ほか

[2019年]

平成31年2月3日(日) 紀尾井小ホール

開場 13時30分 / 開演 14時 東京都千代田区紀尾井町6-5 電話:03-5276-4500

入場料 4,500円
(全席自由)

チケットお取り扱い

紀尾井ホールウェブチケット www.kioi-hall.or.jp/
紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061
株式会社 傳燈樂舎 03-3303-5180

チケットぴあ 133-382
0570-02-9999



ホームページはこちら チケット購入はこちら

主催:「本條秀太郎・端唄／江戸を聞く」実行委員会／後援:日本民族歌謡継承発展協会、本條流／協力:せたがや音楽プロジェクト／企画制作:株式会社 傳燈樂舎
主な交通機関:四谷駅(JR線・丸ノ内線)徒歩6分／赤坂見附駅(銀座線・丸ノ内線)徒歩8分／永田町駅(半蔵門線・有楽町線)徒歩8分／麹町駅(有楽町線)徒歩8分
CD取扱店:山野楽器 銀座本店／ヨーロー堂／邦楽ジャーナル／三味線かとう(順不同) <http://www.honjoh.co.jp>

端唄

江戸は今も、音楽の中に生きている。
端唄-江戸室内歌曲①

「端唄」

聴く者を江戸へと誘う、最高の良薬。
端唄-江戸室内歌曲②

「夢占」

時空を超えて甦る、江戸の面影・江戸の粋。
端唄-江戸室内歌曲③

「面影」

江戸は今も音楽の中に生きている。
端唄-江戸室内歌曲④

「雪」

江戸は今も音楽の中に生きている。
端唄-江戸室内歌曲⑤

「懸想文」

俚奏楽

俚奏楽は、三味線音楽の新たな潮流。

「雪の山中」「みちのく三番叟」

俚奏楽が、日本人の普遍的な心を描き出す。

「雨の月」「寿吉原俄」

俚奏楽が、心暖まる日本の抒情を表現する。

「軒の燈籠」「隅田の流れ」
「うき世道成寺」

俚奏楽は、語り出す三味線の芸術。

「俊寛」

ホームページからもご購入いただけます

公演予定

平成31年4月21日(日) 於紀尾井小ホール
[14:00開演] 入場料:4,500円

本條秀太郎の会 伝えゆく詩達
～鄙歌～ 紀尾井シリーズ vol.10

7月20日(土) 於紀尾井小ホール

[12:30開演][16:30開演] 入場料:5,000円

第14回俚奏楽研究会

10月19日(日) 於紀尾井小ホール
[14:00開演] 入場料:4,500円

本條秀太郎の会 端唄
～江戸を聞く～ 紀尾井シリーズ vol.42